

強い心と 丈夫な体に！ ～長岡少年剣道教室～

「剣道を通して心と体を鍛えよう」と二年半前始まった長岡剣道教室。部員は現在二十四名、うち女の子がなんと九名もいます。毎週水・土曜日、長岡小体育館では、チビッコ剣士が激しい気合とともに、午後六時から休みなしの二時間の練習に汗を流しています。



勢ぞろいした豆剣士

指導している山島さんは、「子どもたちに、剣道を通じ、恐れ、いかり、喜び」という三つの気持ちを教わりたい」とのこと。この教室は、保護者のほかのバックアップも強く、練習日には当番制で必ずおとうさんやおかあさんが来て、出欠をとったりいろいろ子どもたちの面倒をみています。今日の当番の、岡林倫正君のおとうさんに聞いてみると、「家にいるときはそうでもないですが、外に出た時、礼儀作法がしっかり身につけてきたなあと感じます。強くなるどころは別に、ずつと続けていって欲しい」とやさしい言葉が返ってきました。

また、今日は入部希望の大谷さちちゃん、あすかちゃん、ともや君の兄弟が見学。末っ子のともや

(((市民の声)))

遅刻が多い市役所職員

「これはひどい」と言いたくなる...

【声】：過日、市役所に用事があり、始業時間が八時三十分だと思いい四五分頃庁舎へ行けば、多くの職員がまだ出勤中である。

一職員に八時三十分始まりではないかと尋ねれば、「そうだと返事が悠然と返ってきた。企業では一分遅刻しても、三十分賃金カットされます。私たちのだいたいは税金を、一分たりともむだにされたくなくペンを取りました。遅刻する者は、いつも同人大と思ひます。



市民の皆さん、玄関前に一度立って見て下さい。「これはひどい」と言いたくなります。

—市民—

ることは抵抗はありません。
（高小一年 石川みどりさん）
「おねえちゃん（六年）より早くの方がケンカは強いよ。先生はこわくないけど、やさしくもないよ。」
（長岡小二年 浜田きよし君）
「試合をするのがとても楽しみ。病気にもかからなくなったし、何よりも逃げるのが早くなった。」
（長岡小四年 山島しんや君）



「家庭で話合って答えてください。答えは、この広報に出ています。」

■もんだい・6月1日から7日まで県民総合○○○です。みんな防災について考えよう。
■しめきり・6月15日
■おくり先・〒783 南國市大浦甲二二〇一 南國市役所内広報委員会親子クイズ係
■答えのハガキには必ず、住所、部番号・氏名・年齢・職業を書いてください。
■賞品・特賞千円〇三人、残念賞（記念品）〇五人

第17回正解発表表（敬称略）

（応募総数52通）
■こたえ・④百①十八戸
■特賞・千円〇三人
浜田明子（明見）
橋田雅猪（篠原）
浜田好恵（大地）
■残念賞・記念品〇五人
小笠原肇（植田）新藤彰博（西窪）岡崎嘉子（稲生）唐岩佐京（岡豊町）北村真人（下野田）

盛況だった「さつき・食品まつり」

土曜日にどっと人出

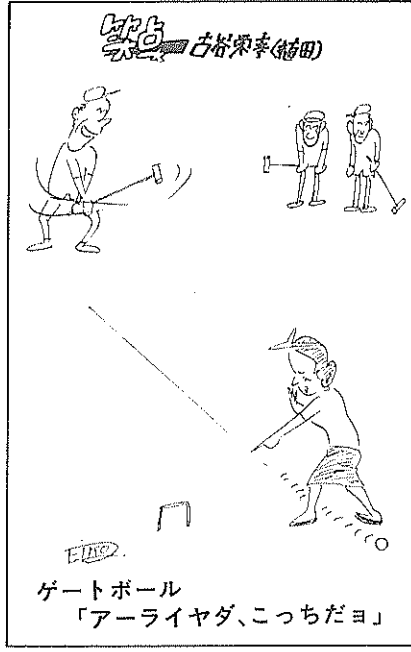


さつきファンが多く訪れた土曜市

宝さがしなど催しも盛りだくさんの「さつき・食品まつり」が開かれ、朝から大勢の人でにぎわいました。

食品売り場では、威勢のいいおばちゃんの声とともに、季節物の梅が良く売れていました。買い物客のなかには、「この花八百円、高いわね。五百円にならない。そう五百円、じゃあ二本ちょうだい。」となかなかねぎるのが上手な主婦のかたも。さつきの展示場では、その道のベテランらしいおじさんたちが、「この枝を切ったほうが、もっと良くなるのになあ。」と批評しあ

ながら、さつき談議に花が咲き話がつきないようでした。なお、さつき品評会の各賞は次のとおりです。



ゲートボール
「アーライヤダ、こっちだよ」

原稿募集

広報なんこくでは、あなたの投稿をお待ちしています。

「市民の声」——市役所に対する建設的な意見、随想や詩、感想文など、どしどしお寄せください。

小・中・高校生のみなさん、マンガやカットなども歓迎します。

楽しい話題や地域の行事などもご連絡ください。
あて先・〒783 南國市大浦甲二二〇一、南國市役所内広報委員会 ③2111内線407
広報なんこくへみなさんの参加をお待ちしています。

南国歌壇

朝あけに早苗田澄みて岡豊山の
椎の芽吹きを水底にうつす
岡豊町 池添利江
肩抱きて戯れし岬の花薔
濃き紫も在りし日のまま
植野 永野美由
テトラポット重なる岸辺夕づきて
はぐれ鳥一羽友さがし舞う
岡豊町 武植信子

南国柳壇

良く成らぬ柳に受診愚痴ばかり
十市 武市日出志
クラス会孫の数をば自慢する
立田 北村幸江
お粗末の国鉄どこまで続くやら
後免町 隅田俊作
たまに来る孫等ではしと思ふ日々
古市 島田稔子

南国俳壇

田疲れの指からぬいさくら雨
まだ逢わぬ人待つ窓にかすみ草
菜の花の黄はまぼろしの原点
春眠を破りて太き雷ひとつ
法場へ一番牡丹剪りにけり
ぶらんこで風を切りたるころ窓し
サンタマリア ヴェールに溜る春の陰
筋違い橋は渡りもどれぬ橋 齊
七福神の一人は眠り 春の紺屋